

# NPO 法人ふるすあるは 第6期事業報告

ごあいさつ

平素より、当団体の活動に多大なご理解、ご協力をありがとうございます。

第6期の後半は、新型コロナウイルス感染症で世界が一変した、だれも想像しえない年になりました。社会へのインパクトが大きく、先がみえない状況がつづいています。団体として何をすべきか、迷いながら...目の前のことを変わらず粛々と...コンテンツ制作・情報発信をつづけてきました。

第6期のさまざまな取り組みについて、ウェブ版の事業報告にまとめましたのでご覧ください。日本精神保健福祉士協会とのコラボでの子ども子育て応援3部作、自治体（小平市）主催でのチアキの絵画展など、これまでの活動の積み重ねが形になったものもありました。活動の柱のひとつ、サイト「子ども情報ステーション」には、およそ100万人の方が訪れました。財務状況は厳しい現状のままです。...活動を継続できるよう、ひきつづき事業内容の選択、集中を行いながら、少しでもホッとできるメッセージ、情報を広げ届けていきたいと思えます。この一年をサポートくださったみなさまへ心から感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

子どもたちと、まわりの大人の方々の力を信じて。

2020年12月

NPO 法人ふるすあるは

代表理事 北野陽子



## 事業報告書ウェブページ

ふるすあるはのHP「事業報告および決算方向」のページ  
[https://pulusualuha.or.jp/about/annual\\_report/](https://pulusualuha.or.jp/about/annual_report/)



- 1 第6期事業報告書、活動計算書、貸借対照表（別ページ）  
《第6期事業報告》
- 2 子どもの応援・新作本「子ども子育て応援3部作」「悲しいけど、青空の日」
- 3 新型コロナウイルス感染症関連の情報発信
- 4 声をありがとうございます
- 5 実績（メディア掲載、講演、制作物ほか）
- 6 小平展覧会レポート
- 7 役員、スタッフからのひとこと 第7期へ

※表紙のイラストについて... サイト「子ども情報ステーション」に重ねた宇宙ステーションの一枚。

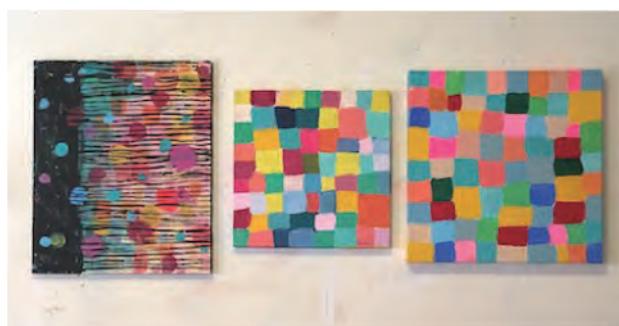
いろんな子どもを乗せて、未来に向けて羽ばたくイメージで描きました。

クリスマスカラーで颯爽と風をきって！のつもりが、なんだかてくてく...

子どもたちへ「迷ったり寄り道したり休息したり、ええやんええやん」安心と希望が届きますように。チアキ

## 2 子どもたちの応援・新作本

### 1) 『子ども・子育て応援3部作』企画



左から... 『生きる冒険地図』(学苑社,2019)

『子ども虐待に気づくためのソーシャルワークハンドブック～精神保健福祉士の強みを活かす～』

『ゆるっとこそだて応援ブック』(自主制作本 2020.10)

公益社団法人日本精神保健福祉士協会よりハンドブックの装丁の依頼をいただいた縁から、『ゆるっとこそだて応援ブック』の企画制作につながり、上記3冊、家族全体を応援するための『子ども・子育て応援3部作』として取り上げていただきました。研修で冊子を活用いただき、機関誌に同封する形でぷるすあるはのチラシ(ケアガイド)も届けることができました。ありがとうございました。

精神保健福祉士は、精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。ぷるすあるはの活動初期より、家族全体の支援の要として連携を目指してきました。ハンドブックの全文PDF(50ページ)は協会HPに公開されていて、誰でも読むことができます。

表紙のモザイクの絵は、いろんな色、いろんなカタチを、いろんな家族になぞらえて描きました。混じり合わない独立した色合いは、どれも尊重されるといいな...という想いからです。

(『ゆるっとこそだて応援ブック』は予定より少し遅れて10月に完成しました。クラウドファンディングで464人の方にご支援いただきました。協会推薦の全国128箇所に寄贈しました。7期へとつながっています。)

### 2) 『悲しいけど、青空の日』出版になりました！

『悲しいけど、青空の日』～親がこころの病気になった子どもたちへ～

文・絵：シュリン・ホームイヤー 訳：田野中恭子

発行：株式会社サウザンブックス社



お母さんやお父さんがうつ病や統合失調症になったら？がテーマの絵本、ドイツで2006年に発行された児童専門書『Sonnige Traurigtage』の日本語版です。

ぷるすあるはも制作チームに加わり、クラウドファンディングから全力応援してきました。

3部構成の第1部は、うつ病のお母さんと暮らす9歳の女の子モナの物語。第2部も絵が多く、モナが自分の経験を話しながら精神疾患や相談先について、読者の子ども達にわかりやすく説明していきます。子どもたちは、まるでモナと対話をしているように、自分のことを書き込めるページがいくつもあるのが魅力です。第3部では、子どもたちの周りにいる大人や専門家への提案が書かれています。

絵本のエッセンスを詰め込んだ動画も公開されています。

※2020年9月5日 家族療法学会自主シンポジウム「精神疾患のある親とその子ども一親子への支援と『絵本』の活用」に登壇しました。このテーマの絵本の翻訳・出版・出版予定が続くなかで(!素晴らしいことです)、それぞれの特色、味わいを知り役立てていただきたいと企画されました。広げていきます。

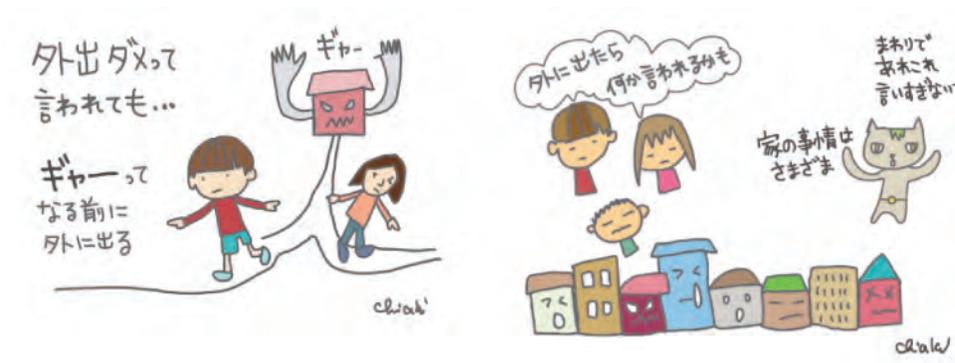
### 3 新型コロナウイルス感染症関連の情報発信

2月末、突然の一斉休校要請がでた頃から

- ・特設ページを開設
- ・セルフケアのためのコンテンツ制作
- ・メンタルヘルス関連情報の集約ページ
- ・毎日1枚の絵を淡々とつぶやく #チアキのらくがき など

重点的にサイトとSNSを通して情報発信を行いました。

チアキもコロナ禍にのまれて調子が低空飛行になりました。社会への影響の大きさに、ぷるすあるはの直接的な支援ではない活動の無力さを感じながら... 情報発信をこつこつと続けると決めてやってきました。(8月から、7期にかけて、さまざまな事情を抱えた家庭の子ども子育ての応援に取り組む団体の取材記を発信しています《コロナ禍と病気と『子どものそだちとくらし』-取材記10》)



サイトの読者の方にコロナ禍の声をアンケートで尋ねました(回答40名)

あなたが見聞きしている子どもさんの様子は...



「からだところのワークブック  
- アルハから大切なあなたへ」  
(認定 NPO 法人 PIECES と共同制作  
企画・ことば：小澤いぶき)

「からだところをメンテ 18 のヒント」  
(次のページに掲載)

個人でも学校などでも、たくさん活用  
いただきました

からだところのワークブック 7

#### ハッピーリスト【宝箱】

こころの調子がいつもとちがうときでも、あなたがやっているいろんな工夫があります。「好き」なこと、「いつもやってること」、やらなくて済んだこと、すでにいろんな工夫=宝物をあなた自身はもっています。アルハが普段やっていること、ちょっと元気になれること、ひまなときにやってることを紹介します。

- ・おる
- ・ごろごろする
- ・ぼーとする
- ・深呼吸
- ・ストレッチ
- ・走る
- ・歩く
- ・公園へ行く
- ・甘いものを食べる
- ・ゲームをする
- ・塗り画をみる
- ・毛糸や紐を遊ぶ
- ・マンガを読む
- ・自分の世界にはいる
- ・ひとりの時間を作る
- ・何もしなくてもOKにする
- ・だれかと話す
- ・DVDをみる
- ・カーテンをOFFにする
- ・羊の寝るをいぼる
- ・ぬり絵
- ・絵巻をかく
- ・好きなものの写真を撮る
- ・からだをだらりとする
- ・本目を通してみる
- ・元氣を長らせない

他にもしいはり見つけてね  
おくらな時おてを太妹  
おくら休むのもありあり

# 18 からだところをメンテ

新型コロナウイルス版 2020.6.3 Ver.2

知るすあるは

個人も家庭もそれぞれいろんな事情があります  
地域の禁止の程度もそれぞれです  
全部ばっちりやれなくても...  
「できることから・できるはいい・今から」  
PDF サイトからダウンロード  
できるイラスト素材あり



PDF



## 1 手あらい

外出から帰ったとき  
食事のまえ  
せきくしゃみやのあと  
仕事場についた...etc  
手をあらうタイミング  
を決めておくのもいいかも



## 3 顔をなるべくさわらない

目、口、はな etc  
なるべくさわらない  
よじがまん  
さわりたいと思ったら  
まず手あらい



## 5 人とキヨリをとる

手をひろげても  
どじかないキヨリ  
(ウイルスが  
とどかない)



## 10 SNS・メディアからはなれる

ニュースは1日1回  
ツイッシュー見ない  
SNS は夕方15分だけ etc  
でウイルスを決めて  
距離にはなれる！  
+  
いざというときに見る情報源は決めておく



## 12 からだ・こころの調子をチェック

からだ・こころの調子を  
定期的にチェック  
ストレスをみえる化  
ストレッチなどについて  
解消法を書き出してみる



## 14 どんなきもちも OK

不安もこわいも  
イライラもちも...  
どんなきもちも OK  
いいことがあるたら  
喜ぶのも楽しいのも OK  
言っても大丈夫な場所が  
あるといいな



## 11 エネルギー温存

休息、睡眠、手抜きして  
エネルギー温存  
食事、からだをうごかす  
生活リズム etc  
自分の健康にあうことを  
とりなすといいれる



## 13 深呼吸 & 自分にやさしい言葉かけ

深呼吸してリラックス  
自分にたくさん  
やさしいことばをかける



## 15 ハッピーリスト

愛のなかでできること  
3密をさけてできること  
そのときの状況にあわせて  
ちよよと元気になれること  
楽しいこと、ひまをつぶせる  
こと、いつでもできること  
を見つけておく



## 6 3つの密をさける

さわられて  
ことわれなかつたら...  
ウソの用事でいいから  
行かない  
自分を守るための  
ウソは OK



## 8 安全なひなん場所

公園や散歩 etc  
3密、人との近いキヨリを  
さけて問題をすごせる  
ところを見つける



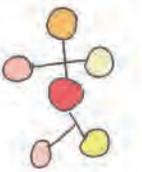
## 9 こまったときリスト

いざというとき  
SOSを出すところ  
夜でも連絡できる人  
買い物のためのめる人 etc  
役所、病院  
警察 110、救急 119 ち...  
自分のリストをつくっておく



## 16 だれかひとつながる

メールや LINE  
ビデオ電話 etc  
いつもよりも少し意識  
して人と連絡をとる  
声をかけられる人から  
声をかけあう



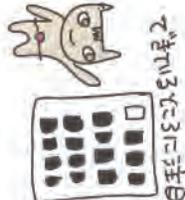
## 17 差別や偏見・個人攻撃に NO

感染した人や家族が  
こりつしないように  
正直に言つて大丈夫に  
医療、保健ほかたくさん  
ささえてくれている  
みなさんへ感謝  
差別や偏見にはみんな NO !



## 18 必要な物のそなえ・心づもり

家の救急箱？  
生活必需品と食料？  
買いためではなく  
自分のライフスタイルに  
あわせて少しのそなえは  
あると安心



からだところをメンテ  
制作：NPO法人知るすあるは  
イラスト：チアキ  
参考資料と  
ダウンロード素材 →  
@putusunaiuha

## 4 たくさんの声をありがとうございます

毎年行なっているサイトご利用アンケート。この一枚におさまらないたくさんの声をいただきました。サポーター登録時の応援メッセージ、読者カードにも励まされています。ありがとうございます。



アンケート全文

声をいくつか紹介します。

- ・気持ちを伝えるカードをよく使います。相手にしっかり伝わって好評です。
- ・ストレスコップやイラストで、子どもの感情表現がしやすくなった。
- ・困ったときに読み返しています。子どもが来年小学生なので学校との関係が不安でしたが、ぷるすあるはさんのコンテンツで不安が軽減しました。
- ・読む事で悩んでいるのが自分だけではないと感じられる。困った時に眺めると、対処法を思い出して安心して対応できる。
- ・子供の頃の自分に何が起こっていたのか、親に対する訳の判らなさ親からうけた行動の謎が、子供だった自分の責任ではないと、悲しみや悔しさが軽減されました。
- ・いま、親とは離れて生活しているのに、過去の子供だった悪夢をみたり、ふと思い出したり、疾患のない親/家庭をみてメンタル不安になるとき、コンテンツを読むことで、過去の記憶に埋もれるのではなく、今、自分を大切にする行動や言動をとることに気づく。自分の心を休ませるオフのきっかけ良い変化となった。
- ・とても辛くて、手がつかない時、どうにか堪えていた日に、ぷるすあるはさんに出会いました。片手を繋いでもらえた様に思います。大人になっても、頼っていいんですね。子供達のためにも、自分のためにも我慢せずに、でも頑張ります。これからもぷるすあるはさんの活動がどんどん広がって長く続いていきます様に。私もいつか、誰かを支える人になれるように。応援しています！
- ・いつもぷるすあるはさんの Twitter 見えています。さくちるさんのインタビューをよく読んでいます (さくちるさんは活動をやめられたようなのでさみしいですが...)

ぷるすあるはさん以外では精神障害を持ちながらの子育てに関するやさしい情報が少ないので、頼りにしています (専門的な本では深刻な事例ばかりで不安になるので)。



・子どものことを第一に書かれていて、今辛い子どもを助けるには、役立つとおもいます。けれど、長い目で見ると、親や大人を助ける情報が多い方が、子どもの生活の基盤をつくるので、子どもたちの助けになるのではないかと思います。親の精神疾患のせいで、子どもが辛いというと、子どもの親が悪く言われることがあります。ネットなどで、精神疾患の親に対する誹謗中傷も目につきます。子育ては一人ではなく、皆で育てた方が、楽になると思います。気兼ねなく精神疾患や家族の状況について相談したり、支え合う場所が必要だと思います。

・手書きの味のある文字が大好きです！けれど、しんどい時には手書きの文字を読むのがしんどいなーって時もあります。ダウンロードできるものは手書きバージョンと、メイリオやゴシックなどのバージョンがあればめっちゃ嬉しいです。

・私自身、当事者です。サイト内の色々な言葉に子どもの頃に感じた気持ちが蘇ってきました。「あの時、だれか大人が助けてくれていたら、私の人生は変わってただろうな…」漠然としたこの気持ちをずっと持ち続けてきました。ぷるすあるはさんの活動を知って、心が救われるような思いでした。今困難を抱えながら生きている子どもたちやご家族への応援は絶対必要です。(ふぁじゅさん)

・こどもたちの支援に関わる仕事をしている私自身、ぷるすあるはさんの存在が、心のどこかで生きる力になっていると感じます。ぷるすあるはさんが提供されている、メンタルヘルスに関わる分かりやすい説明、そしてあたたかなメッセージを、多くのこどもたち、大人たち、支援者や教育関係者に、ぜひ見て、触れて、感じていただけたらと思います。(なおさん)

いただいた改善点については、随時、進捗状況を追記していきます。これまでにいただいたご意見もひきつづき取り組みます。

## 2) 講演など ( ) は参加者概数

- 2020.4.25 第23回 SAFER 研修プログラム (23)@オンライン
- 2019.12.2 さいたま市社会福祉協議会市民研修@埼玉 (40)
- 2019.12.1 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会関東甲信越支部 (60)
- 2019.11.18 さいたま市社会福祉協議会主任児童委員研修 (100)
- 2019.11.13 新潟県養護教員研究協議会長岡支部研修会 (100)
- 2019.10.24 豆本寄贈プロジェクト (J.P. モルガンさま) (100)
- 2019.10.14 シブサポミーティング 2019「気持ちの箱づくり」(20)
- 2019.10.4 川口市教育研究会健康教育部研修会 (96)

## 3) 学会、イベント発表など

- 2020.9.5 一般社団法人日本家族療法学会第37回大会自主シンポジウム  
@オンライン「精神疾患のある親とその子ども－親子への支援と『絵本』  
の活用」(27)

## 4) イベント出展

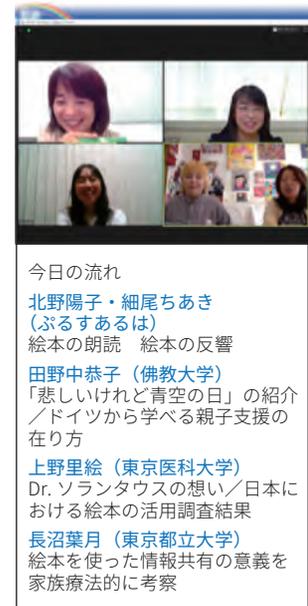
- 2020.9.19-20 リカバリー全国フォーラム 2020@ オンライン
- 2020.2.21 全国養護教諭連絡協議会@東京 (742)
- 2020.2.1 第12回アルコール・薬物家族支援フォーラム@東京
- 2019.12.18-22 小平市展覧会  
「ココロがしんどくなる前に－だれでもだれかのサポーター」(500)

## 5) 定期刊行物

- 親がこころの不調をかかえたときの子どもと親のケアガイド (ぶるすあるはのチラシ)  
2020年夏秋号 1,500枚 / 2019年秋冬号 5,500枚 \*A3 両面

## 6) 制作コラボレーション

- 公益社団法人日本精神保健福祉士協会『子ども虐待』に気づくためのソーシャルワークハンドブック  
－精神保健福祉士の強みを活かす－』装丁
- さいたま市障害者更生相談センター高次脳機能障害啓発ブック 制作協力



## 5 実績～メディア・講演・制作物など

メディア掲載では、6期の前半は、昨年6月に出版した『生きる冒険地図』を、後半は新型コロナウイルス感染症関連の情報発信を取り上げていただく機会が多かったです。講演活動は、たくさんお受けはできていない状況ですが、直接のメッセージをお伝えする機会を大切にしています

### 1) メディア掲載

- ・ [連載] 2019.10～ 月刊みんなねっと 表紙
- ・ 2020.9 Be!140 号特集扉イラスト「宙ぶらりんを生きぬく力 答えが出なくても。先が見えなくても。」  
特集手記イラスト「#チアキのらくがき」
- ・ 2020.7.10 「CONSONANCE 精神科治療を考える」 2020 SUMMER 「親が精神障害だったら一子どもにとって必要な支援とは」
- ・ 2020.7.1 月刊みんなねっと 2020年7月号「特集 コロナ禍の中でからだところをメンテ 18のヒントー  
新型コロナウイルス版」
- ・ 2020.6.22 YAHOO! JAPAN ニュース「性的同意」「境界線」って何？アニメで学ぶ「性暴力防止」
- ・ 2020.6.20 (公財) 横浜市男女共同参画推進協会 フォーラム通信 2020 春秋号「特集 2 自分のためのところ  
とからだのメンテナンス」
- ・ 2020.6.19 Facebook Japan-The Government of Japan
- ・ 2020.5.3 毎日新聞 埼玉版「不安な気持ち 正直に」メンタルヘルス情報発信、NPO ぷるすあるは
- ・ 2020.5 メンタルヘルスマガジン ころの元気 plus【特集】まんが特集：いろんな立場の恋愛・結婚
- ・ 2020.4.25 毎日新聞 ヤングケアラー 幼き介護「精神障害者や家族の新型コロナ対策どうする？」NPO 法人  
が特設ページ開設
- ・ 2020.4.24 読売新聞 埼玉版 子ども情報ステーション内の新型コロナウイルス関連ページを紹介
- ・ 2020.4.7 東京新聞 首都圏新型コロナ情報「気持ちのほぐし方、伝える」さいたまのNPO が特設ページ
- ・ 2020.3.31 東京新聞 すくすく「新型コロナで不安な日々、親に精神障害がある家庭に役立つ情報は？支援  
団体が特設ページ
- ・ 2020.3.5 朝日新聞 休校の子どもたちへ
- ・ 2020.3 看護展望 3月号「親がころの病気をかかえている子どもたちに”つらい今を生き抜く”工夫を伝える」
- ・ 2020.2 NHK こども応援宣言 メッセージが掲載
- ・ 2019.12.24 文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」
- ・ 2019.12.21 TBS ラジオ「蓮見孝之・まとめて！土曜日」・「人権トゥデイ」～精神疾患などの親を持つ子  
どものための『生きる冒険地図』
- ・ 2019.11.29 NHK NEW WEB 特集（'孤育て'ひとりで悩まないで）
- ・ 2019.11.21 東京新聞・中日新聞（生きる冒険地図）
- ・ 2019.11 発達教育 クリップボード（生きる冒険地図）
- ・ 2019.10.25 | 女性会議 | 女のしんぶん（生きる冒険地図）

『生きてるだけで100てん』  
じっくり取材いただき  
記事になりました



公益社団法人全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は、精神に障がいのある方の家族が結成した団体です。精神障がいのある本人と家族が安心して暮らせる社会をめざし、多くの仲間や関係者の方々と支えあい、学びあい、手をつないで目標の実現に向けて活動されています。

## 6 小平展覧会レポート

### 『ココロがしんどくなる前にーだれでもだれかのサポーターー』

2019年12月18日-22日、ルネこだいらにて、チアキの絵画展と関連イベントを開催しました。  
小平市主催、精神障がい者理解促進研修・啓発事業として、精神に障がいのある方とご家族を地域で応援することを目的としたイベントです。

絵画作品だけでもおよそ150点。ルネこだいら展示室の広い会場に、色彩豊か、大小さまざまなチアキの作品が映えました。絵本、図書、工作のコーナーを贅沢に配置して、テーマ性のある展示ができました。情報コーナーは、小平市の情報、ふるすあるはの活動紹介、あまり知られていない課題に取り組むさまざまな団体・相談先の情報も掲示しました。

小平市の障がい者支援課＋社会福祉法人ときわ会＋ふるすあるはの3者で『チームこだいらん』を結成し実現した企画です。個性豊かな大人たちが、立場を超えてコラボし、それぞれに楽しく準備運営に取り組んだことも豊かな体験でした。

会期中、およそ500人の方にお越しいただきました。

開催にあたって、お力をいただいた全てのみなさまへ、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 関連イベント

- ・トークイベント：関係者向けトーク（12/17）、朗読会×2（12/21午前/午後）、ギャラリートーク＆朗読会（12/22）チアキの体験や、それぞれの絵にこめられた思い、制作過程の意外な話をきいてからみると、絵の印象もまたちがってくるように思います。どの回も盛会でした。
- ・サテライト会場：なかまちテラス内、CAZE CAFÉ なかまち・仲町図書館にもミニ展示しました。
- ・みんなでつくる音楽祭 in 小平：avinylgirlさんの素敵な演奏とアレンジでの共演で、『わたしのココロはわたしのものー不登校って言わないで』を朗読しました。



### アルバム（次のページ）

A	B		
C		D	F
H	J		K
I	L	M	N
O	P	Q	R

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| A だれでも誰かのサポーター  | K 受付のマスコット・ゴマスキー   |
| B ディープゾーン       | L ダンボールの子どもたちの街    |
| C たくさんの色とメッセージを | M 見えない包帯見えますか？     |
| D 作者、チアキ        | N 工作コーナー大人気        |
| F 原画と絵本の見比べ     | O ドローイングはチアキの頭のなか？ |
| G 生きる冒険地図ゾーン    | P 出張ふるす文庫          |
| H,I ドットは春の光の世界  | Q ぐるぐるの子ども時間       |
| J 絵本と情報コーナー     | R 新作ぐるぐる           |



## 7 役員・スタッフからのひとこと

いつもご支援いただきありがとうございます。  
今年はコロナで世の中が大きく変わりましたが、  
今だからこそ私達ができること・やるべきことを、  
みなさんのご支援を支えと励みに、行っていきたく  
と思います。  
これからも応援よろしく願いいたします！  
副代表 芦高



ホットとアルハとゴマスキー

ぶるすに携わって早3年、  
その間に世界は劇的に変わってしまいました。  
新たな生活様式への対応がむずかしいと  
感じる方も多くいらっしゃると思います。  
そんな時に「大切におもっています」  
物理的に離れても、心は近く、暖かく。  
「ポジティブワード集」が、気持ちを楽にしてくれ  
ます。引き続きぶるすあるはへの温かいご支援のほ  
ど、よろしく願いします。監事 池山



世界中が大変だった2020年！  
時々、苦しくなります。「いつもならこれが出来たのに～」と。三密は、人が生きてゆくのに大切なのに、今はダメ！！  
目に見えない“もの”に対して、小さな子が小さなマスクをしている。心が痛みます。子ども、今をどのように受け止めているのでしょうか？  
いつも、子どもの心に寄り添っている「ぶるすあるは」みんなで応援してゆきませんか？  
よろしく願いします。理事 吉岡幸子



微力ながら事務会計業務が円滑に行えるよう第7期も頑張ります！  
事務担当 yuko



現場で使えるアイテムを作ったり、発信できるように頑張っていきたいです。チアキ

ぶるすあるはは、2021年の4月で、設立10年目の年に入ります。サポーターのみなさま、いつもありがとうございます。It/webチーム、事業戦略チーム、コンテンツ制作チーム、原画展チーム...さらに多くの方に、これまでも、そして今期も活動を支えていただきました。ありがとうございます。

団体が大切にすること、つづけること、お休みにすること...振り返り整理する機会にもなった一年でした。ぶるすあるはがぶれず、ありつづけることを大切に。7期もひきつづきよろしく願いいたします。代表 キタノ



### 第7期のぶるすあるは

- ・10月に新作本『ゆるっこそだて応援ブック』が完成します。『生きる冒険地図』とともに広げる取り組みを行います。子ども情報ステーション内での発信[ウェブ版]にも力を入れ、絵本でサイトで、家族全体の応援のメッセージを広げます。
- ・(6期からひきつづき)さまざまな事情を抱えた家庭の子ども子育ての応援に取り組む団体の取材記を発信します。《コロナ禍と病気と『子どものそだちとくらし』-取材記10》
- ・2021年1月、さいたま市立大宮図書館で、さいたま市高次脳機能障害者支援センターと共催の絵画展を開催します。オンライン配信もまじえます。
- ・「ヤングケアラー」の支援について発信します。
- ・SNSでの毎日の発信をつづけます。
- ・チームクリフの研究テーマは、「家族が使えるサービスに関する調査(と発信)」「『精神疾患のある親と暮らす子どもの体験』に関する文献研究」です。

## ぷるすあるはの情報発信



子ども情報ステーション



オンラインストア



facebook



twitter



instagram  
チアキの



youtube

# NPO法人 ぷるすあるは

第6期 事業報告書 2019.10.1-2020.9.30



2020年12月発行  
〒338-0012  
さいたま市中央区大戸 1-14-10-105  
Tel / Fax 048-717-5639  
<https://pulusualuha.or.jp>

